

令和3（2021）年度栃木県地域企業応援一時金給付業務委託
公募型プロポーザル実施要領

令和3（2021）年度栃木県地域企業応援一時金給付業務を委託するに当たり、次のとおり公募型プロポーザルを実施します。

1 業務概要

(1) 業務名

令和3（2021）年度栃木県地域企業応援一時金給付業務

(2) 業務内容

別紙「令和3（2021）年度栃木県地域企業応援一時金給付業務委託仕様書」のとおり

(3) 業務委託の履行期間

契約締結日から令和3（2021）年11月30日（火）まで

(4) 契約金額の上限

88,349,000円（消費税及び地方消費税を含む。）を上限とする。

2 プロポーザルに参加するために必要な資格

栃木県内に本店、支店又は営業所等を有する法人であり、次に掲げる要件をすべて満たす者であること。

(1) 競争入札参加者資格等（平成8年栃木県告示第105号）に基づき、入札参加資格を有する、又は、契約締結時までに資格を取得する見込みの者であること

(2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4に規定する者に該当しない者であること

(3) 本プロポーザル実施に係る参加表明書及び企画提案書の受付期間において、栃木県競争入札参加資格者指名停止等措置要領（平成22年3月12日付け会計第129号）に基づく指名停止期間中でない者であること

(4) 民事再生法（平成11年法律第225号）第21条第1項若しくは第2項の規定に基づく再生手続開始の申立てがされている者（同法第33条第1項の規定に基づく再生手続開始の決定を受けた者を除く。）又は会社更生法（平成14年法律第154号）第17条第1項若しくは第2項の規定に基づく更生手続開始の申立てがされている者（同法第41条第1項の規定に基づく更生手続開始の決定を受けた者を除く。）でないこと

(5) 栃木県暴力団排除条例（平成22年栃木県条例第30号）第2条第1号又は同条第4号の規定に該当しない者であること

3 応募スケジュール

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| (1) 実施要領等の公表（公募開始日） | 令和3（2021）年5月21日（金） |
| (2) 実施内容等に関する質問受付期限 | 令和3（2021）年5月27日（木）17時必着 |
| (3) 質問に対する回答 | 令和3（2021）年5月31日（月）（予定） |
| (4) プロポーザル参加表明書提出期限 | 令和3（2021）年6月1日（火）17時必着 |
| (5) 企画提案書の提出期限 | 令和3（2021）年6月3日（木）17時必着 |
| (6) 審査結果の通知・公表 | 令和3（2021）年6月9日（水） |

4 応募方法等

(1) 事務局

〒320-8501

栃木県宇都宮市埜田1-1-20 (栃木県庁本館6階南側)

栃木県産業労働観光部経営支援課 商業活性化担当

電話 028-623-3177

電子メール syougyou@pref.tochigi.lg.jp

(2) 質問の受付及び回答方法

プロポーザルに参加するに当たり質問事項がある場合は、簡易なものを除き、質問票（様式第5号）により受け付けます。

ア 提出期限 令和3（2021）年5月27日（木）17時必着

イ 提出先 事務局

ウ 提出方法 電子メール

エ 回答方法 質問及び回答事項を取りまとめの上、ホームページに掲載します。

オ 掲載日 令和3（2021）年5月31日（月）（予定）

(3) 参加表明書の提出

本プロポーザルへの参加を希望する者は、次のとおり参加表明書等を提出してください。

ア 提出期限 令和3（2021）年6月1日（火）17時必着

イ 提出先 事務局

ウ 提出物 参加表明書（様式第1号） 1部

会社・団体等の概要（様式第2号） 1部

エ 提出方法 持参又は郵送（郵送の場合は、書留郵便に限る。）

オ 受付時間 平日の9時から17時まで（12時から13時を除く。）

カ 参加辞退 参加表明書提出後に参加を辞退する場合は、令和3（2021）年6月2日（水）までに、辞退届（様式任意）を提出してください。

(4) 企画提案書の作成

企画提案書は、別添「令和3（2021）年度栃木県地域企業応援一時金給付業務委託仕様書」を熟読の上、次のとおり作成してください。

ア 企画提案書（様式第3号）

イ 令和3（2021）年度栃木県地域企業応援一時金給付業務委託（以下、一時金という。）に係る提案書（任意様式）

（ア）提案書の審査は会社・団体名を伏せて行います。本様式には会社・団体名や会社・団体名を類推させる記載はしないでください。

ウ 見積書（任意様式）

エ 業務における業務委託実績書（様式第4号）

（ア）本様式に記載する実績がない場合は未記載のまま提出してください。

（イ）企画提案書提出日前5年間における類似業務、又は現在契約中の類似業務について記載してください。

オ 各様式作成に係る共通事項

- (ア) フォントは、原則 10.5 ポイント以上としてください。
- (イ) 用紙サイズはA4とし、原則両面印刷としてください。
- (ウ) 専門用語を用いる場合には注記等を記載してください。
- (エ) 提出された書類に虚偽の内容が記載されていた場合、失格になることがありますので注意してください。

(5) 企画提案書の提出

企画提案書は、次のとおり提出してください。

ア 提出期限 令和3(2021)年6月3日(木)17時必着

イ 提出先 事務局

ウ 提出物 企画提案書(様式第3号)1部

提案書(任意様式)5部

実績書(様式第4号)5部

見積書(任意様式)1部

エ 提出方法 持参又は郵送(郵送の場合は、書留郵便に限る。)

オ 受付時間 平日の9時から17時まで(12時から13時を除く。)

(6) 企画提案書等提出書類の取扱い

ア 提出期限後において、提出書類の変更、差し替え、再提出若しくは撤回は認めません(審査に影響を与えない軽微なものを除く)。

イ 提出期限後において、提出書類は理由のいかんを問わず返却しません。

ウ 提出書類は、審査に必要な範囲において複製を作成することがあります。

エ 企画提案書は、栃木県情報公開条例(平成11年栃木県条例第32号)に基づく情報公開請求の対象となります。

5 委託候補者の選定

参加表明書が参加要件に該当する旨を確認した後、次により審査を行います。

(1) 審査方法

県が設置する審査会において審査を実施した上で、審査基準により総合的に評価して順位付けを行い、1位となった参加者を契約候補者に選定します。ただし、審査結果いかんによっては、いずれの参加者も契約候補者に選定しないことがあります。また、参加者が1者であった場合には、総合的に評価して契約候補者としての適否を判断します。

(2) 審査基準

別表のとおりです。

(3) 審査結果の通知

審査結果については、審査後、速やかに参加者宛て通知するとともに、契約候補者の名称等を栃木県ホームページに掲載します。なお、審査会は非公開とし、審査内容に係る質問や異議は一切認めません。

6 契約に関する事項

(1) 上記5の審査において選定された契約候補者と契約締結の協議を行います。

(2) 契約に当たっては、企画提案書を基に細部について協議の上、栃木県財務規則(平成7年栃木

- 県規則第 12 号) 等の関係法令に基づき、本要領 1 (4) に掲げる額の範囲内で契約締結します。
- (3) 契約書の作成に必要な経費は、全て受託者の負担とします。
 - (4) 契約締結の協議が整わなかった場合には、審査結果の上位の者から順に協議を行います。

7 業務の適正な実施に関する事項

(1) 業務の再委託の禁止

受託者は、受託者が行う業務を第三者に委託し、又は請け負わせることができません。ただし、業務を効率的に行う上で必要と思われる業務については、委託者と協議の上、業務の一部を委託することができます。

(2) 個人情報の保護

受託者が当該業務を行うに当たって個人情報を取り扱う場合には、栃木県個人情報保護条例（平成 13 年栃木県条例第 3 号）、栃木県個人情報保護条例施行規則（平成 13 年栃木県規則第 66 号）に基づき、その取扱いに十分留意し、漏えい、滅失及びき損の防止その他個人情報の保護に努めてください。

(3) 守秘義務

受託者は、委託業務の処理に際して知り得た秘密を他に漏らしてはなりません。委託業務が完了し、契約が解除された後においても同様とします。

8 失格事由

以下の事項に該当する場合は、失格となることがあります。

- (1) 提出期限を過ぎて提出書類が提出された場合
- (2) 必要な記載事項又は書類が欠如していた場合
- (3) 提出された書類に虚偽の内容が記載されていた場合
- (4) 審査の公平性に影響を与える行為があった場合
- (5) 本要領に違反すると認められる場合
- (6) その他担当者があらかじめ指示した事項に反したとき

9 その他

- (1) 企画提案書の作成及び提出等プロポーザルの参加に要する経費は、全て参加者の負担とします。
- (2) プロポーザル及び契約の手續並びに委託業務の実施において、使用する言語は日本語、使用する通貨は円とします。
- (3) 参加者の企画提案書の著作権は、参加者に帰属し、契約候補者の企画提案書の著作権は、委託契約締結時点で栃木県に帰属するものとします。
- (4) 企画提案書等に特許権など日本国の法令に基づいて保護される第三者の権利の対象となっている内容を含む場合、当該権利の使用に係る調整は参加者が行うとともに、その使用に係る経費を委託料に計上してください。
- (5) 委託業務における制作物の著作権は栃木県に帰属するものとします。委託契約期間終了後、栃木県が制作物を使用するに当たり制限がある場合には、企画提案書にその旨明記してください。
- (6) 企画提案書の提出をもって、参加者が実施要領の記載内容に同意したものとみなします。
- (7) 本プロポーザルの参加により、県から知り得た情報は、他者に漏らしてはなりません。

別表

令和3（2021）年度栃木県地域企業応援一時金給付業務委託
公募型プロポーザル審査基準

- 1 審査項目及び審査内容の配点は次のとおりとし、審査委員4名が採点する。
- 2 企画提案の中で最高点と評価した審査委員が最も多かった者を委託契約候補者とする。
なお、該当する企画提案者が複数あった場合には、各審査委員による評価の合計点の平均点が最も高い者を委託契約候補者とする。
- 3 2の場合において、平均点の最も高い企画提案者が複数あった場合は、審査委員の審議の上、委託契約候補者を特定する。
- 4 企画提案者が1者の場合は、審査委員採点の総和の平均が70点以上をもって委託契約候補者とする。

審査項目			審査内容	配点
1	企 画 力	(1)	仕様書に示した要件を満たし、事業の趣旨に沿った提案であること。	10
		(2)	地域企業応援一時金給付事業が十分周知される提案となっていること。	10
		(3)	申請書類の円滑な受付・審査が行えるものとなっていること。	20
		(4)	専門的なノウハウを生かした企画提案であり、内容が優れていること。	10
2	遂 行 能 力	(5)	事業の実施方法、実施体制及びスケジュールが実現可能であること。	20
		(6)	事業を行う能力を十分に有していること。	20
3	費 用 の 積 算	(7)	経費積算が適切であり、コストパフォーマンスに優れたものとなっていること。	10
合計				100

選考委員

選考委員は、次の4名の職を有する者をもって充てる。

所属	役職	備考
産業労働観光部 経営支援課	課長	選考委員長
産業労働観光部 経営支援課	中小・小規模企業支援室長	
産業労働観光部 経営支援課	主幹兼課長補佐（総括）	
産業労働観光部 経営支援課	商業活性化担当 GL	